

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 H23 (A-Ⅱ) H24 (Ⅰ) H24 (Ⅱ) 【AIMS】 H25／神戸大学

■プログラム名

ASEAN 諸国との連携・協働による次世代医学・保健学グローバルリーダーの育成プログラム

――以下、タイに特化した内容を主にご記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

マヒドン大学（タイ）、チェンマイ大学（タイ）

■主な活動内容（概要）

神戸大学及び大阪大学の世界標準の教育を基盤に、ASEAN 諸国との連携・協働により、ASEAN 諸国の課題への的確な問題解決能力及び英語による実践的コミュニケーション能力を有する、医学・保健学グローバルリーダーとして活躍できる医師、教育研究者、高度医療専門職者、医療産業人を養成する。このため、神戸大学、大阪大学、インドネシア大学、ガジヤマダ大学、アイルランガ大学、マヒドン大学、チェンマイ大学を中心にコンソーシアムを構成し、ASEAN 諸国との連携・協働により、短期間の派遣プログラム、単位を認定する交換留学及び博士課程の学位取得プログラムという多層的な派遣・受入交流プログラム等を企画・展開する。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

単位互換：1ヶ月～3ヶ月の派遣で取得できる海外大学の単位が少ない。

寮：神戸大学の寮への本プログラムによる留学生の受入ができないため、民間施設を使わざるを得ないが、高額であることや敷金礼金などの問題があり、快適な住環境とは言えないシェアハウスなどを使用している。

タイ情勢：タイの情勢不安のため、派遣予定学生が不安を訴えることがある。派遣前に、派遣予定学生と受入学生の面談・連絡先の交換などを行わせることで、受入学生から正確な現地情報の提供を受け取ることができる体制を整えた。この取り組みで、派遣予定学生の不安解消に努めている。

成功事例

派遣学生の決定をできる限りはやく行うことで、派遣予定大学から留学生を受け入れた時に、派遣予定学生と受入学生の面談・連絡先の交換などを行わせるようにしている。同様に、派遣大学先で派遣学生と受入予定学生の交流も行なわれている。上記の通り、学生間交流の活性化を図っており、プログラム参加学生を中心とした、各大学の学生間による自発的な相互支援関係が構築されつつある。これにより、派遣時の当該大学学生によるサポートが得られ、充実した留学生活を送ることができている。